



## 院長の1分レクチャー7 【血液検査で分かること】

熱が続いていたり、具合が悪いときにする血液検査。いったい何を調べているのでしょうか？

まずは**白血球**。細菌やウイルスと戦う細胞ですが、細菌では増えるのに対して、ウイルスでは変化しないのが特徴です。

もうひとつは**CRP**。これは炎症を表す数字で、細菌では5以上になることも多いのですが、ウイルスではだいたい1-2くらいです。

両者を総合して抗生剤（抗菌薬）が必要な細菌感染症か、必要のないウイルス感染症かを判断します。場合によっては点滴や入院が必要になることもあります。とは言っても子供のかぜの90%以上はウイルス感染症ですので抗生剤は不要です。

「熱が出たら抗生剤」はほとんど効果がないんですね。

- ① 白血球とCRPで炎症の強さ・かぜの種類を調べる。
- ② 「熱が出たら抗生剤」はあまり意味がない。

※「院長の1分レクチャー」はホームページや  
公式LINEアカウントからも読むことができます。



おおつか  
こどもクリニック